



小児科

3 年次

山本 裕記

Q プログラムの特色を教えてください。

A 東京都立大塚病院小児科後期研修プログラムは、大塚病院小児科 2 年 3 か月、大塚病院新生児科 3 か月、外部病院 6 か月のローテーションで構成されています。多くの期間を過ごす大塚病院小児科では外来・入院を通じて幅広い症例を主治医として担当し、指導医のもとで実践的な力を養うことができます。当院は総合周産期母子医療センターとして超早産児への対応も行っており、新生児症例も豊富に経験をつめます。さらに外部施設では小児の重症管理や専門疾患の経験を積むことができ、一般的な疾患から専門領域までバランスよく習得できる点が大きな魅力です。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A 小児科は専門性と同時に Generalist としての一面が強い診療科です。患者である子どもの病気だけでなく、その成長発達を支え、時には家族や地域にも関わる力が求められます。大塚病院小児科では専攻医が主治医として診療にあたり、多様な症例に主体的に関わることができます。主治医としての責任を持って診療に臨む中で、病気だけでなく患者に寄り添う姿勢や、小児科医として真に求められる役割を学ぶことができていると日々実感しています。このような環境で研修できることは、小児科医としての第一歩を踏み出す上で非常に恵まれていると感じています。